

## 北岡理事長がASEAN設立50周年セミナーで基調講演

01



ジョコ・ウィドド大統領との面談後にプレスカンファレンスに臨む北岡理事長



日本が支援に力を入れる東ティモール国立大学工学部も視察した

北岡伸一 JICA理事長は、7月24日から30日にかけてインドネシアと東ティモールを訪問し、両国政府要人と開発課題や今後の協力について意見を交換しました。さらにインドネシアでは、ASEAN設立50周年記念セミナー（ASEAN日本政府代表部、インドネシア戦略国際問題研究所共催）において基調講演を行いました。

7月26日、北岡理事長はインドネシアのジョコ・ウィドド大統領と面談し、インフラ開発の他、地方開発・社会開発、海洋保安分野などのバランスの取れた協力をより深化させることで同意。また、ジャカルタ都市高速鉄道事業、首都圏東部新港開発、ジャワ島北幹線鉄道高速化の3つの重要案件を引き続き迅速に進めることで一致しました。

同日行われたASEAN設立50周年記念セミナーで基調講演を行った北岡理事長は、ASEAN設立50周年に祝意を述べるとともに、ASEANが今後も自由で開かれた地域として一体性を維持しつつ、普遍的価値、国際秩序を支える地域共同体へと成長、発展していくことへの期待を述べました。

続いて北岡理事長は、JICA理事長として初めて東ティモールを訪問しました。東ティモールにとっても、今年は独立から15周年にあたり、2012年の国連撤退後初となる大統領選挙を3月に、国民議会議員選挙を理事長訪問直前の7月22日に平和裏に実施するなど、記念となる年でした。

北岡理事長は、7月28日にフランシスコ・グテレス・ル・オロ大統領と面談。大統領は、東ティモール独立前の1999年から今日までの協力に対する感謝と、今後の支援に対する期待を表明しました。これに対して北岡理事長は、JICAが東ティモールにおける平和で安定的な国づくりに向け、継続的な支援を実施していく考えを示しました。

北岡理事長は、日本が長年にわたって支援する東ティモール国立大学工学部を訪問し、日本の援助が現地の人材育成に貢献していることを確認。あわせて、現地で活動する青年海外協力隊員を激励しました。

## パキスタンの省エネルギーラベリング制度にかかる戦略策定を支援

02



アビッド・シェール・アリパキスタンエネルギー省副大臣（後列中央）立会いの下で調印式に臨むアメル・アフメッド次官補（前列左）と東城康裕JICAパキスタン事務所長（同右）

JICAは8月30日、パキスタン・イスラム共和国の首都イスラマバードにて、同国政府との間で、「省エネルギー基準及びラベリング制度にかかる戦略策定・推進プロジェクト」に関する討議議事録に署名しました。

パキスタンでは、近年深刻な電力需給ギャップが生じています。2015年時点でピーク時需要に対して供給力が24%も不足しているため、地域によっては計画停電が長時間発生し、電力の安定供給は差し迫った課題です。

これに対し、パキスタン政府は、発電、送電、配電などを通じた電力供給力の強化を図る一方、省エネルギーの取り組みも進めています。2016年7月には省エネルギー法も公布されました。

本事業は、パキスタン全土で省エネを推進していくための制度構築・運用を支援するものです。本事業をはじめとする各種省エネ事業が適切に実施されれば、ピーク時の電力需要を大幅に削減し、電力需給状況の改善と、供給能力の約7割を占める火力発電による温室効果ガスの排出抑制につながります。

## 「世界の笑顔のために」プログラム、寄贈物品募集中！

03



ベリーズに届けられた野球道具

リコーダー、バレーボール、そろばん、けん玉など、実家や物置に眠っているものはありませんか？ そんな品々を、JICAが世界の途上国の人々に届けます！

「世界の笑顔のために」プログラムでは、教育、福祉、スポーツ、文化などの分野で途上国が必要としている物品を日本国内で募集し、青年海外協力隊などのJICAボランティアを通じて現地の人々に届けます。2003年に始まったこのプログラムは、いまでは年2回、春と秋に実施。毎回、約40カ国に約5000点の物品を寄贈しています。個人はもちろん、学級活動の一環や、企業、地域で集めるなど参加の形もさまざまです。あなたの身近にあるものが、国際協力の一歩に。たくさんのご応募をお待ちしています。

【参加申込書受付期間】  
10月2日（月）～11月8日（水）  
10月2日（月）

【お問い合わせ】  
JICA青年海外協力隊事務局  
「世界の笑顔のために」プログラム係  
TEL）03-15226-19196  
【URL】  
<https://www.jica.go.jp/partner/smile/>